



株式会社

セブン-イレブン・ジャパン



アカチャンホンポ

イトーヨーカドー



SEIBU SOGO



ヨークベニマル



(株)セブン&アイ・ホールディングス

グループ会社

(株)セブン-イレブン・ジャパン、(株)イトーヨーカ堂、(株)そごう・西武、(株)ヨークベニマル、  
(株)ヨークマート、(株)セブン&アイ・フードシステムズ、(株)セブン銀行、  
(株)セブン・カードサービス、(株)セブンネットショッピング、(株)オッシュマンズ・ジャパン、  
(株)ロフト、(株)赤ちゃん本舗、ほか

株式会社

セブン-イレブン・ジャパン

お問い合わせ先

株式会社 セブン&アイ・ホールディングス  
総務部 資源・リサイクル

〒102-8452 東京都千代田区二番町8番地8  
TEL. 03-6238-3704 FAX. 03-6238-3491  
<http://www.sej.co.jp/social/>



本冊子を通じて、東日本大震災復興支援型国内クレジットを活用し、被災地を支援しています。  
また、印刷工程で有害廃液を出さない水なし印刷、VOC(揮発性有機化合物)ゼロの植物油インキ、FSC®認証紙、見やすくまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

【お願い】 本冊子をご不要になった際は、再資源化のため、お住まいの地域の  
ルールでリサイクルいただけるようお願いいたします。

2013年11月発行



## セブン-イレブン 社会・環境への取り組み 2013-2014

～「近くて便利」なお店をめざして～



# セブン-イレブンが いま取り組んでいること

暑い日も、寒い日も、

ひとりのときも、友だちや家族と一緒にのときも、

いつでもセブン-イレブンはあなたのそばにいます。

どんなに時代が移り変わっても、

お客さまの笑顔につながる場所でありつづけるために——

私たちが実践していることを、ご紹介します。



地域のお役に  
立ちたくて。



### セブンらくらくお届け便

店内でご購入いただいた商品だけでなく、事前のご注文で店内のほぼ全ての商品をお届けします。また、お客さまのもとには環境に配慮した超小型電気自動車「コムス」を使って配達します。



### セブンあんしんお届け便

近年、高齢者を中心に日常のお買物やお食事に不便を感じている方が増えています。セブン-イレブンでは、お客さまのお買物や食生活をサポートするために移動販売車を走らせています。



### セブンミール

お食事お届けサービス「セブンミール」は、栄養バランスに配慮したお食事をお届けするサービスです。1回あたり500円以上ご注文をいただくと、お届け料は無料となります。



いつも「おいしい」と  
言っていたきたくて。



### セブン&アイ・ホールディングスのプライベートブランド

一つひとつの味・品質にこだわりながらもお求めやすい価格の「セブンプレミアム」と、より品質を高め専門店にも負けない味を追求した「セブンゴールド」。安全・安心な商品をお届けするために原料調達から商品開発、品質管理まで一貫した体制で商品づくりを行っています。



### コールドチェーン(低温物流網)

新鮮な野菜のおいしさをお客さまにお届けしたいとの思いから、サンドイッチやサラダなどに使用している野菜は、収穫直後から低温保管し、輸送(庫内)・加工(工場内)・お店(売場)まで一貫して最適な温度(非加熱処理する葉物類は10℃、果菜類は15℃以下)を維持しています。



### 安全基準

セブン-イレブンの専用工場では、宇宙食の安全性を確保するために開発された食品の衛生管理手法「HACCP」をもとに設定した約140項目にわたる安全基準が守られているかをチェックしています。こうした仕組みが定着したことで、生産工場の品質管理レベルは向上しています。



# 新鮮な商品をお届けしたくて。



## 合成着色料・保存料ゼロ

おにぎりやお弁当、サンドイッチなどは、素材の味を味わっていただくため「合成着色料・保存料」を使用していません。また、オリジナル商品の「食パン」や「焼きたて直送便(パン)」のトランス脂肪酸の低減にも取り組むなど、おいさと安全・安心の両立を追求しています。



## 物流の効率化

セブン-イレブンは、一定エリア内に集中出店する「ドミナント方式」を採用しています。そのため、工場から効率良く配送することが可能となり、新鮮な商品をお届けしています。また、長距離配送が減ることでCO<sub>2</sub>排出量も削減できるなど、環境面でも大きな効果を生んでいます。





“まちの安全・  
安心の拠点”  
として。



### セーフティステーション活動

お店では女性や子どもの駆け込み、迷子や高齢者の保護を行っています。2012年度の受け入れは全国で12,302件(延べ9,403店舗)ありました。また、地域の警察署と連携して防犯訓練や講習会なども定期的  
に実施しています。



### 地域清掃

お店は地域とともにあります。地域のクリーンな環境づくりにお役に立ちたいと、お店で働く人たちやセブン-イレブン社員が地域ごとに集まり、公園や駅前、河川敷などさまざまな地域の清掃活動に取り組んでいます。





# 環境保全活動を 全国に。



## 「セブンの森」

森林を育て、木質材の利用を促進する取り組みを行っています。植林活動に限定せず、「健全な森づくり」に必要な下刈り、間伐などの「森林整備活動」を継続的に実施。現在、北海道（支笏湖・えりも岬）、宮城、栃木、千葉、長野、大阪、広島、宮崎の9カ所で実施しています。

### 「長野 セブンの森」の間伐材を使ったカートカン

「長野 セブンの森」から伐採した間伐材を使った紙製飲料容器「カートカン」を採用した飲料を発売しています。容器には国産木材を30%以上使用しており、健全な森林育成と地球温暖化防止につながっています。



## 環境保全活動

全国のセブン-イレブンの店頭でお客さまからお預かりした募金は、セブン-イレブン本部からの寄付金とあわせ、環境をテーマにした地域の市民活動の支援に役立てられています。



環境にもやさしい  
店舗になりたいから。

### 省資源化

セブン-イレブンは、2006年から割りばしの素材を白樺から竹に変更しています。竹はほかの木材と比べて成長が早いだけでなく、伐採された後も地下茎から新たな竹が生えるため、環境にやさしいのです。また、お弁当の包装形態を「ラップ包装」から「テープ止め」に変更しています。この取り組みによってプラスチック包材を約676トン/年削減しています(2012年4月～2013年3月まで)。

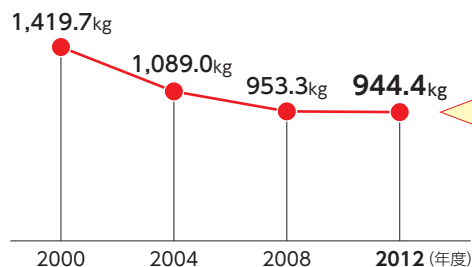


### レジ袋削減

お店ではレジ袋の使用量を削減するために、レジ対応時のお客さまへの声かけや商品の大きさに応じた適正サイズのレジ袋使用に努めています。また、お買い上げ点数の少ないお客さまにはテープ対応をご承諾いただくなど、お客さまとともに省資源に取り組んでいます。



### 1店舗当たりのレジ袋使用量の推移



セブン-イレブンは、  
12年間でレジ袋を  
約3分の1  
削減しました ↓



## 環境配慮型店舗



環境配慮型店舗数※  
**683店**

太陽光パネル設置店舗数※  
**6,500店**

※2013年9月末現在



## 環境配慮型店舗

セブン-イレブンの最新型店舗では、太陽光発電パネルを設置しているほか、トップライト(天窗)を設けて太陽光を取り入れるなど、積極的な省エネ活動に取り組んでいます。また新店舗はもちろん、既存店でも店舗照明のLED化を推進。交換前に85灯の蛍光灯が設置されていたお店では、LED照明への交換により、交換前と比較して11,508kWh/年・店の削減効果をあげています。また、店頭看板や店外のサインポールもLED化を進めています。

LED照明の導入(2013年9月末現在)



店頭看板  
**11,889店舗**



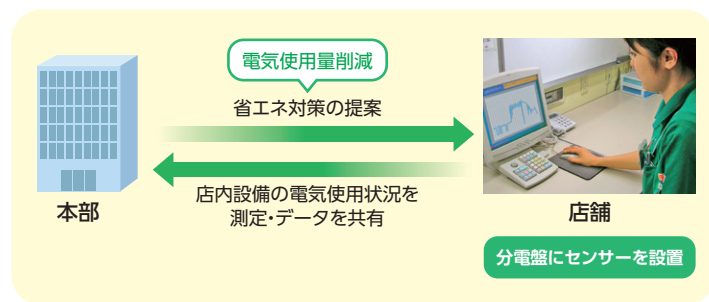
サインポール  
**11,551店舗**



店内照明  
**12,470店舗**

## 「スマートセンサー」

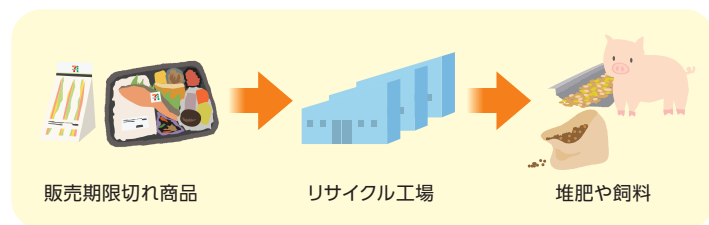
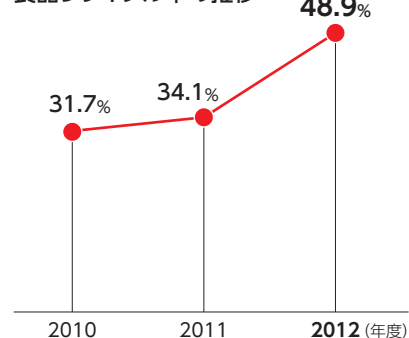
セブン-イレブンは、電気が「いつ、どこで、どう使われたか」を「見える化」する機器「スマートセンサー」を15,602店舗に導入しています(2013年9月末現在)。この機械を分電盤に取りつけることで、店内設備の電気の使用状況が確認でき、お店での節電対策に活かされています。



## 食品リサイクル

セブン-イレブンは、販売期限が切れた商品のリサイクル(堆肥や飼料化)を進めるために取り組み地区を拡大しています。その結果、2012年度の食品リサイクル率は48.9%となりました。また、2013年9月末現在、全国で21都府県で実施しています。

### 食品リサイクル率の推移



## 会社概要

### 株式会社セブン-イレブン・ジャパン

代表取締役会長 最高経営責任者(CEO)  
鈴木 敏文

代表取締役社長 最高執行責任者(COO)  
井阪 隆一

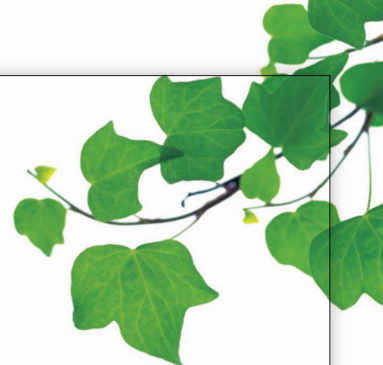
設立  
1973年11月20日

資本金  
172億円

従業員数  
6,070人(2013年2月末現在)

チェーン全店売上高(国内)  
3兆5,084億4千4百万円(2013年2月期実績)

店舗数(国内)  
15,831店(2013年8月末現在)



## 2013年、 新しい「環境方針」を定めました。

セブン-イレブンは、地球環境と企業活動の調和を実現するために、商品の開発から製造、物流、販売まで、さまざまな環境活動や社会貢献活動に取り組んできました。そうした活動をより強化するため、2013年に新しい「環境方針」を定めました。

### 環境方針

#### 1. 事業活動に対する責任

私たちは事業活動の中で、環境保護、ロス削減、資源の有効利用・再資源化、省エネルギー、廃棄物の削減、環境汚染の予防につとめ、企業の責任を果たします。

#### 2. お客さまとの協力と情報公開

私たちはお客さまの声に耳を傾け、お客さまとともに環境保護につとめ、その活動の結果を文書化し、広くお客さまや社員に情報公開します。

#### 3. 地域社会との協力・社会貢献

私たちは地域とともに環境について考え、環境分野の社会貢献活動を継続的に行い企業市民としての役割を果たします。

#### 4. 責任と自覚

私たちは、この環境方針にもとづき、企業や社会の中でそれぞれの立場で環境問題について考え、自分の役割を自覚して行動するようつとめます。

#### 5. 環境目標の設定と見直し

私たちはこうした取り組みが年ごとに改善されるようにつとめ、環境に関連する法規制や私たちが同意した要求事項を順守し、企業活動の分野ごとに自主的目標を定め、それを年ごとに見直し継続的に改善します。

2013年5月29日  
株式会社セブン-イレブン・ジャパン  
代表取締役社長 井阪 隆一